

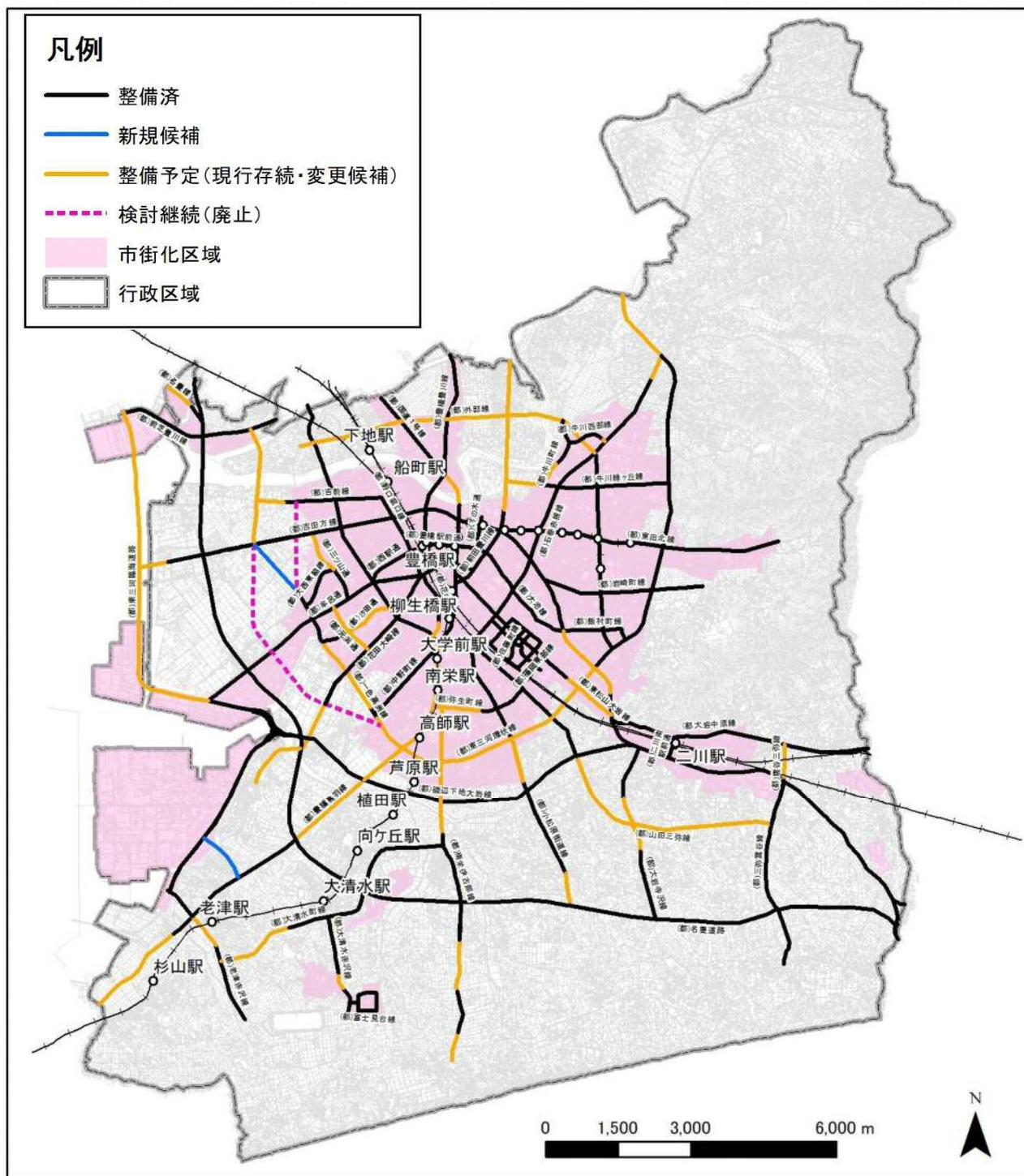
參考資料

(1) 豊橋市の交通・地勢などの整理

ア. 都市計画道路

- 都市計画道路の整備率（概成済含む）は令和2年9月末現在約73%となっています。
- 都市計画道路の未整備区間において、計画の見直しを進めています。

■都市計画道路の整備状況（令和2年9月時点）



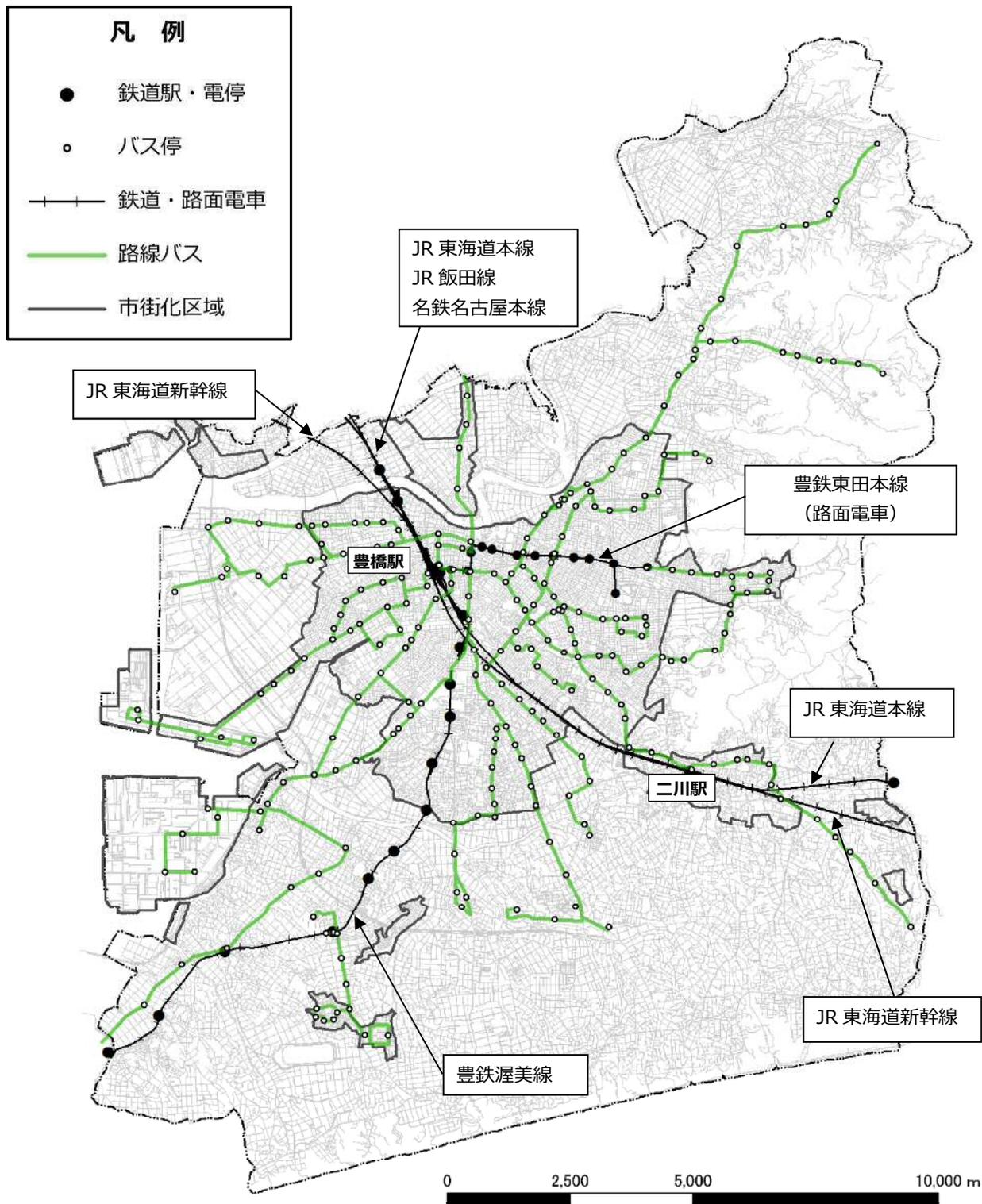
出典：豊橋市資料

イ. 公共交通路線網

① 鉄道、路面電車、路線バス

- 鉄道や路面電車は、東海旅客鉄道、名古屋鉄道、豊橋鉄道の3事業者の路線が整備されています。豊橋駅には各事業者が乗り入れており、市内及び東三河地域の中心的な駅となっています。
- バス路線は、民間の豊鉄バスの路線網が豊橋駅を中心に放射状に整備されています。

■ 鉄道、路面電車、路線バスの路線網（令和2年10月時点）

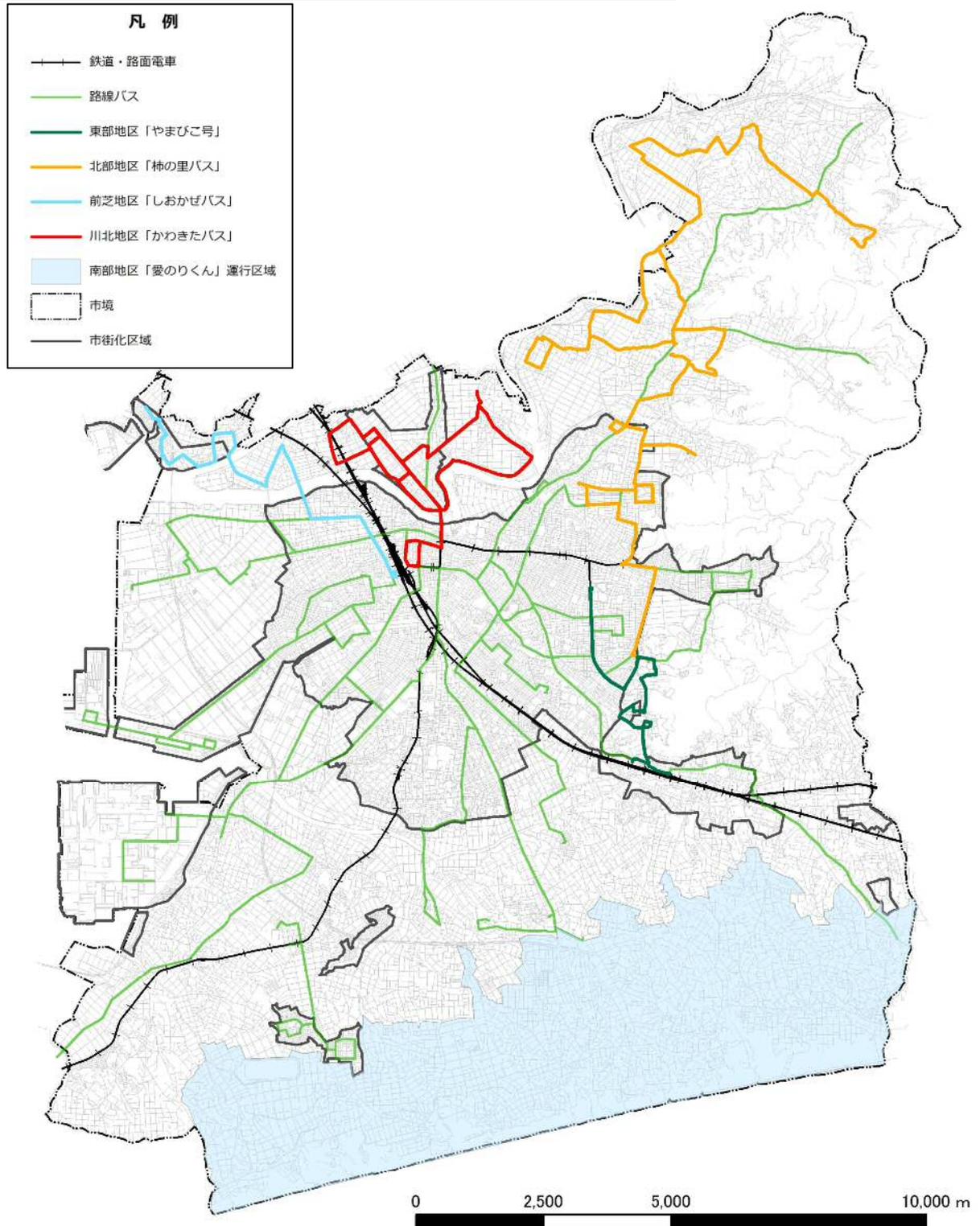


出典：豊橋市資料

②コミュニティバス

- 路線バスが廃止された地域など、交通事業者による従来の乗合型公共交通の運行が難しい地域では、日常の移動手段を確保するために地域住民が主体となって運営するコミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）が、市の東部・北部・南部・前芝・川北の各地区で運行しています。

■コミュニティバス（「地域生活」バス・タクシー）路線網（令和2年10月時点）

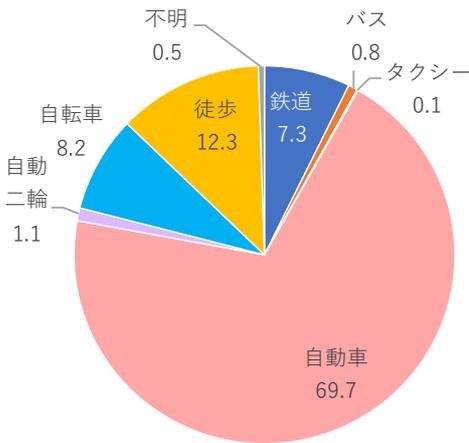


出典：豊橋市資料

ウ. 市民の交通実態

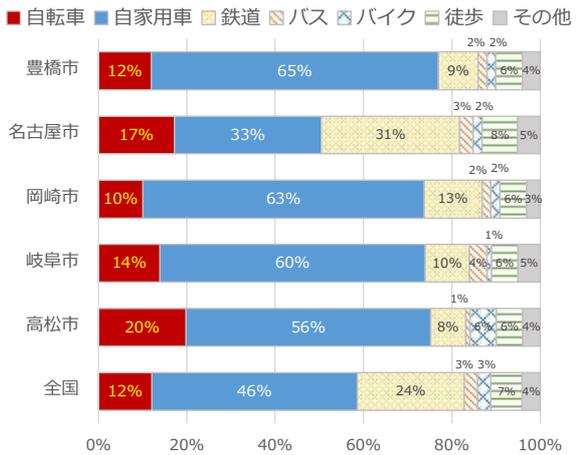
- 豊橋市民の交通手段分担率（交通行動に占める交通手段別の割合）では、約 70%を自動車に占めており、自動車への依存が非常に高いといえます。
- 自動車に次いで分担率が高いのが徒歩の 12.3%、自転車の 8.2%となっています。
- 通勤・通学時の移動手段について、本市の自家用車利用率は 65%で、自転車は 12%となっています。

■ 交通手段分担率



出典：第 5 回中京圏パーソントリップ調査（平成 23 年）

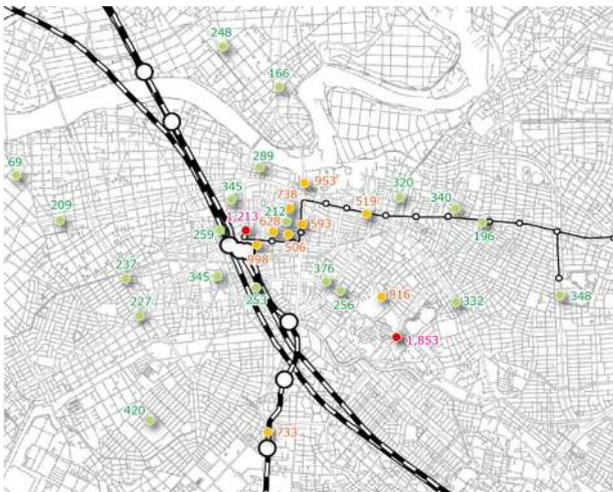
■ 通勤・通学者の移動手段の割合



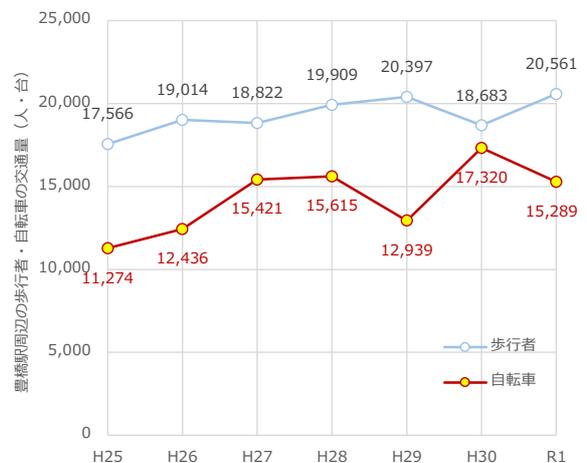
出典：平成 22 年国勢調査

- また、中心市街地の交通では、自転車の交通量が増加傾向にあります。（豊橋駅周辺の市街化区域内 32 地点での交通量調査（全地点合算））

■ 豊橋駅周辺 32 地点での歩行者・自転車交通量（R1）



■ 歩行者・自転車交通量の推移

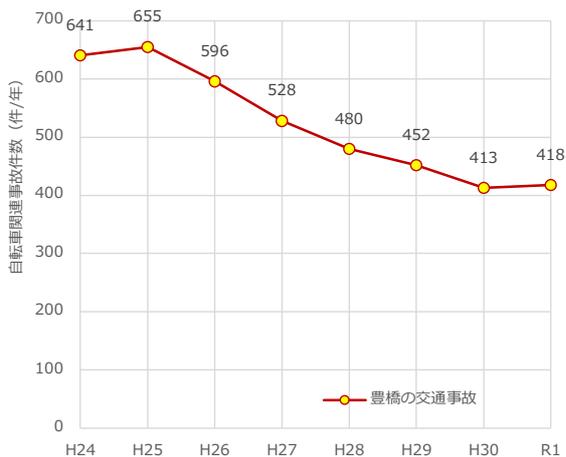


※調査は、愛知県立豊橋商業高等学校により実施

工. 自転車事故の実態

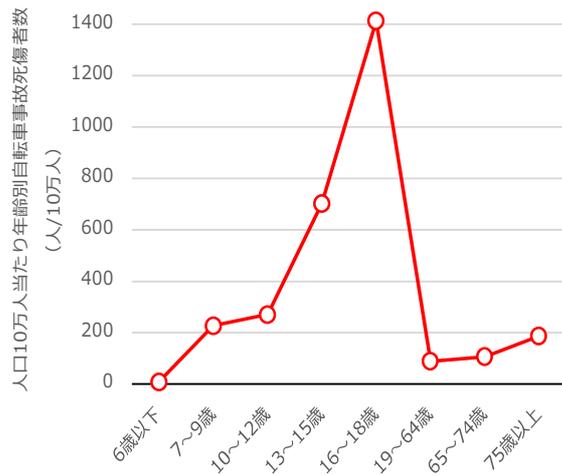
- 市内の自転車事故の発生件数は年々減少しており、平成 25 年 655 件から、令和元年では約4割減の 418 件となっています。
- また、高校生や中学生での年代の事故が多いという特徴があります。
- 自転車事故は豊橋駅周辺の市街地や大きな交差点付近で集中して発生しています。

■ 豊橋市内の自転車関連事故件数の推移



出典：豊橋の交通事故

■ 豊橋市の年齢別の人口 10 万人当たり自転車事故死傷者数



出典：ITARDA 公表の自治体単位自転車事故データ (H26)

■ 自転車事故の発生箇所（ヒートマップ）

【新川交差点付近】



【大池南交差点付近】



【南松山交差点・南松山北交差点付近】



【上立合橋南交差点付近】



出典：警察提供の市内交通事故データに基づき作成
電子国土地図 web（国土地理院）

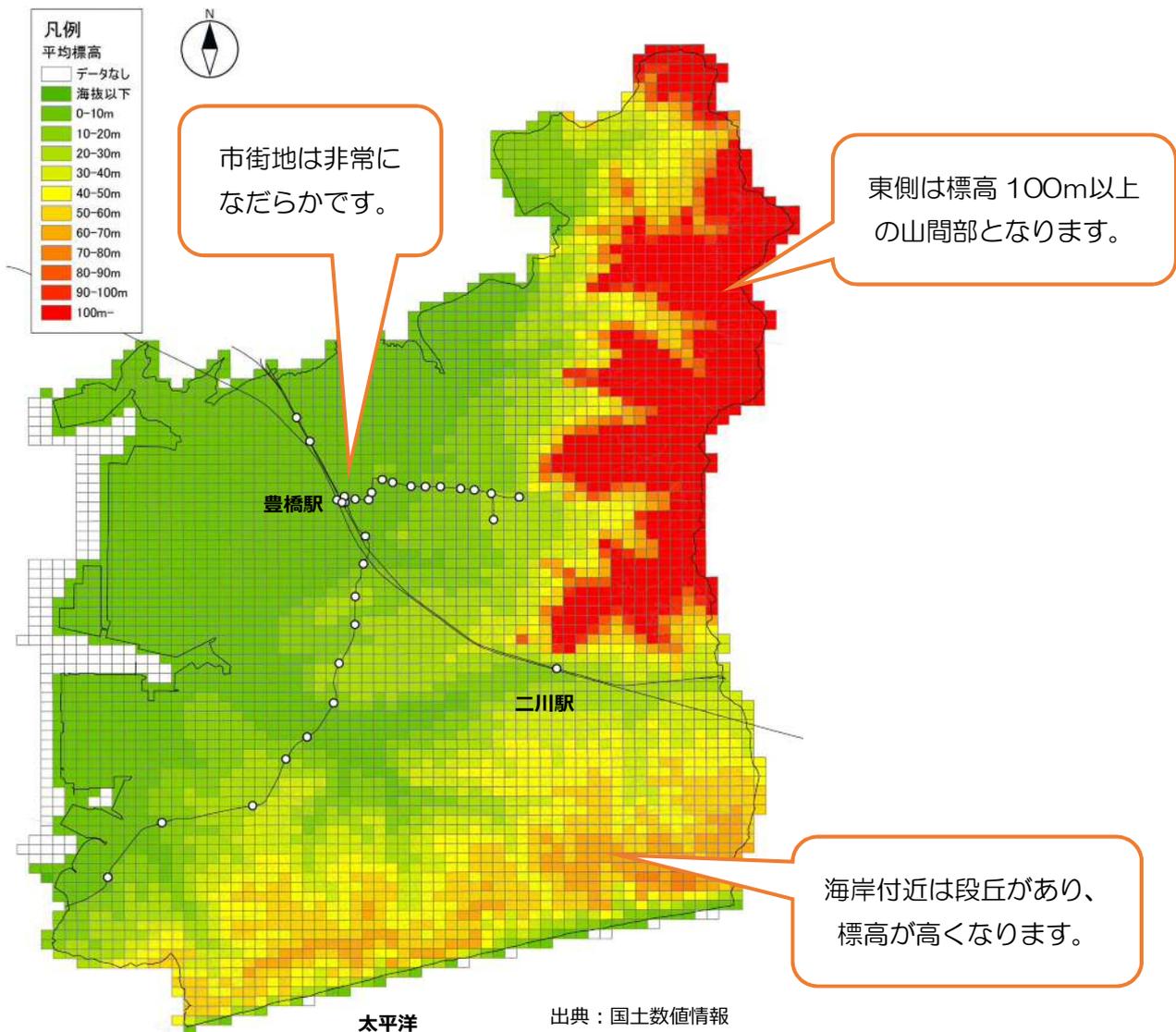
オ. 地勢

- 愛知県の東南部に位置し、東は弓張山地を境に静岡県と接し、東の山地から西の三河湾へと緩やかに傾斜してはいるものの、地形はおおむね平坦で、自転車利用に適した地形です。
- また、南には太平洋の黒潮が流れ、東部・北部を山地に囲まれており、豊かな自然環境に恵まれ、気候は比較的温暖で年間の平均気温は17℃程度です。冬季には「三河のからっ風」と呼ばれる北西の季節風が吹きますが、雪はまれにちらつく程度で積雪はほとんど見られないため、自転車を利用しやすい環境です。

■ 豊橋市の平均気温の推移



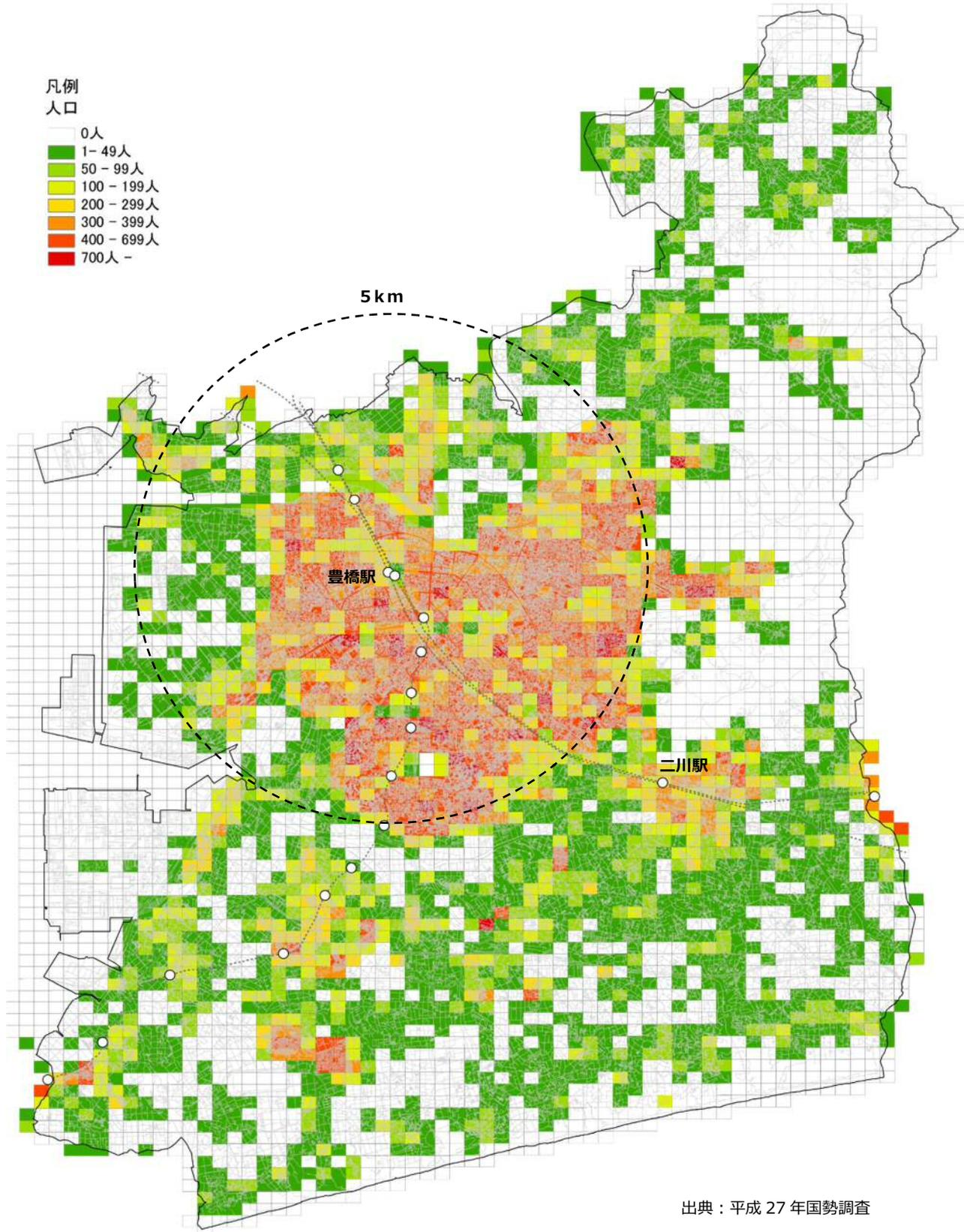
■ 豊橋市の標高 (250mメッシュ)



カ. 人口分布

- 市内の人口は豊橋駅から半径 5km の範囲に密集しているほか、二川駅や大清水駅などの駅の近隣などでも人口が多い状況です。

■人口分布（平成 27 年，250m メッシュ人口）



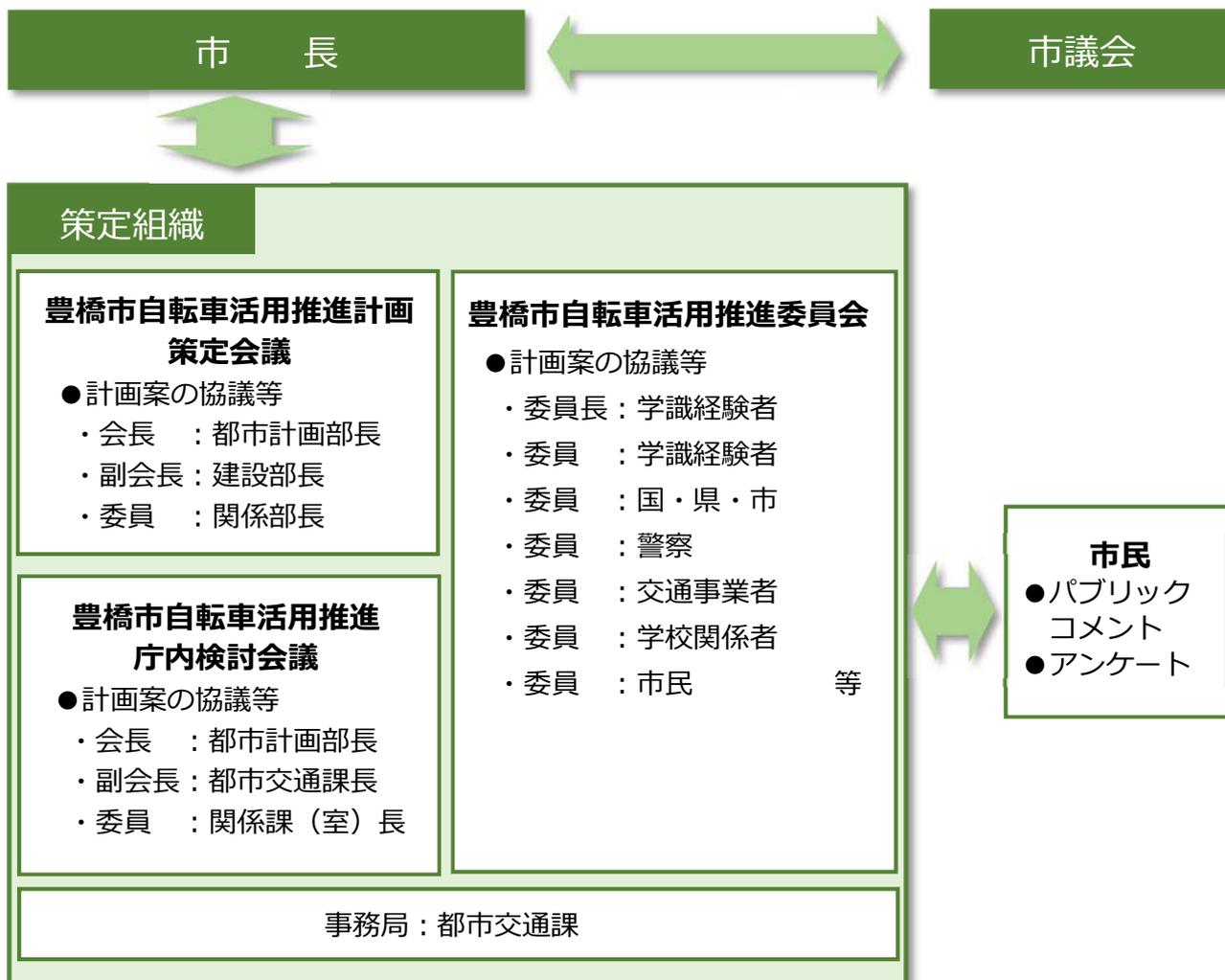
(2) 策定の経緯

■会議等の開催経緯

令和元年度	R1.8.15	第1回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
	R1.8.23	第1回	豊橋市自転車活用推進委員会
	R1.10.18		自転車に関するアンケート調査
	R1.11.15	第2回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
	R1.11.27	第2回	豊橋市自転車活用推進委員会
	R1.12.11	第1回	豊橋市自転車活用推進計画策定会議
	R2.2.17		豊橋市議会 建設消防委員会
令和2年度	R2.4.13	第1回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議（書面開催）
	R2.8.6	第2回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
	R2.8.17	第1回	豊橋市自転車活用推進委員会（書面開催）
	R2.9.18	第3回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
	R2.9.24	第1回	豊橋市自転車活用推進計画策定会議
	R2.10.2	第2回	豊橋市自転車活用推進委員会
	R2.11.9	第4回	豊橋市自転車活用推進庁内検討会議
	R2.11.17	第3回	豊橋市自転車活用推進委員会
	R2.12.2	第2回	豊橋市自転車活用推進計画策定会議
	R3.2.19		豊橋市議会 建設消防委員会
	R3.2~3		パブリックコメント



豊橋市自転車活用推進計画 2021-2030



■豊橋市自転車活用推進委員会 委員名簿（令和元年度）

※敬称略

役職	職名等	氏名
委員長	豊橋技術科学大学名誉教授	廣島 康裕
副委員長	公益財団法人自転車駐車場整備センター自転車総合研究所長	古倉 宗治
委員	豊橋技術科学大学准教授	杉木 直
委員	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所長	五十川 泰史
委員	愛知県東三河建設事務所企画調整監	稲垣 秀高
委員	愛知県豊橋警察署交通課長	志治 正己
委員	豊橋鉄道(株)鉄道部部長兼運輸営業課長	梅村 仁朗
委員	豊鉄バス(株)常務取締役営業企画部長	坂本 直也
委員	豊橋商工会議所常務理事	瀧川 雅弘
委員	(一社)豊橋観光コンベンション協会常務理事	中村 聡
委員	豊橋市自治連合会理事	小林 一博
委員	豊橋女性団体連絡会	曾田 律子
委員	豊橋自転車競技協会会長	伊藤 雄章
委員	愛知県自転車モーター商協同組合理事長	高野 守夫
委員	東三河南地区公立高等学校長会代表	平松 直哉
委員	私立高等学校代表	河合 伸賢
委員	豊橋市立小中学校長会代表	峠 尚良
委員	豊橋市副市長	有野 充朗
委員	豊橋市建設部長	山本 晋
委員	豊橋市産業部次長	加藤 智久

■豊橋市自転車活用推進委員会 委員名簿（令和2年度）

※敬称略

役職	職名等	氏名
委員長	豊橋技術科学大学准教授	杉木 直
副委員長	公益財団法人自転車駐車場整備センター自転車総合研究所長	古倉 宗治
委員	国土交通省中部地方整備局名古屋国道事務所長	五十川 泰史
委員	愛知県東三河建設事務所企画調整監	渡會 竜二
委員	愛知県豊橋警察署交通課長	本多 幸治
委員	豊橋鉄道(株)鉄道部部长兼運輸営業課長	梅村 仁朗
委員	豊鉄バス(株)常務取締役営業企画部長	坂本 直也
委員	豊橋商工会議所常務理事	瀧川 雅弘
委員	(一社)豊橋観光コンベンション協会	中村 聡
委員	豊橋市自治連合会理事	丸山 幸雄
委員	豊橋女性団体連絡会	曾田 律子
委員	豊橋自転車競技協会会長	伊藤 雄章
委員	愛知県自転車モーター商協同組合理事長	高野 守夫
委員	東三河南地区公立高等学校長会代表	平松 直哉
委員	私立高等学校代表	高倉 嘉男
委員	豊橋市立小中学校長会代表	村井 正照
委員	豊橋市副市長	有野 充朗
委員	豊橋市建設部長	廣地 学
委員	豊橋市産業部次長	増田 明

(3) 用語集

あ

IoT

Internet of Things の略。建物、電化製品、自動車、医療機器など、多種多様な「モノ」がインターネットに接続することによって実現する新たなサービス、ビジネスモデル、またはそれを可能とする要素技術の総称。

ICT

Information and Communication Technology の略。情報・通信に関連する技術の総称。これまで使われてきた「IT (Information Technology)」にコミュニケーションが具体的に表現されている。

安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン

平成 23 年度の有識者による検討委員会の提言を踏まえ、各地域において、道路管理者や都道府県警察が自転車ネットワーク計画の作成や通行ルールの徹底等を進めるため国土交通省道路局及び警察庁交通局により策定されたもの。平成 24 年 11 月 29 日道路管理者、都道府県警に発出。平成 28 年改訂。

え

エコ通勤

従業員の交通手段が、クルマから電車やバス・自転車・徒歩等に、自発的に転換することを促す、事業所主体の様々な取り組み。

SDGs

Sustainable Development Goals の略。2015 (平成 27) 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に記された、2016 (平成 28) 年から 2030 (令和 12) 年までの国際目標。

SDGs 未来都市

SDGs の達成に向けた優れた取り組みを内閣府に提案し選定された都市 (自治体)。本市は「豊橋から SDGs で世界と未来につなぐ水と緑の地域づくり」を提案し、2019 (令和元) 年度に選定された。

き

居住誘導区域

一定のエリアについて人口密度を維持することにより、生活サービスや地域コミュニティが持続的に確保されるよう、居住を誘導する区域。豊橋市立地適正化計画で定められている。

け

健康経営

従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践すること。

こ

交通結節点

異なる交通手段 (場合によっては同じ交通手段) を相互に連絡する乗り換え・乗り継ぎ場所あるいは施設。

サイクルアンドライド

最寄り駅等まで自転車を使い(=サイクル)、駅などに近接した駐輪場に駐輪し、鉄道駅などの公共交通機関に乗り換えて(=ライド)、目的地まで行く方法。

散走

自転車で走ることを主眼に置くのではなく、それに伴う食事や風景、歴史・文化など楽しんで散歩感覚で気軽に自転車で走ること。

サイクルツーリズム

「サイクリング・自転車」と「観光・旅行」を組み合わせたものであり、自転車に乗りながら、地域の自然や地元の人々、食事や温泉といったあらゆる観光資源を五感で感じ、楽しむことを目的とした観光事業・観光旅行。

市街化区域

都市計画法に基づく都市計画区域のうち、市街地として開発・整備する区域で、すでに市街地を形成している区域及びおおむね10年以内に優先的かつ計画的に市街化を図るべき区域。

自転車専用通行帯

道路交通法第20条第2項の道路標識により、車両通行帯の設けられた道路において、普通自転車が通行しなければならない車両通行帯として指定された車両通行帯。

自転車道

道路構造令第2条第1項第2号に規定される。専ら自転車の通行の用に供するために、縁石線又は柵その他これに類する工作物により区画して設けられる道路の部分。

自転車保険

自転車搭乗中の事故における怪我の補償や、相手に怪我を負わせた場合の損害賠償に備えることのできる保険。

新型コロナウイルス

コロナウイルスの一種。コロナウイルスには、「重症急性呼吸器症候群(SARS)」や2012年以降発生している「中東呼吸器症候群(MERS)」ウイルスなどが含まれる。新型コロナウイルスは、一般的に飛沫や接触で感染する。

スポーツツーリズム

スポーツ観戦やスポーツイベントへの参加などを目的とした旅行及びそれに伴う周辺観光のこと。また、これらを活用し地域の交流促進や経済活性化を目指す取り組み。

生活習慣病

食習慣、運動習慣、休養、喫煙、飲酒等の生活習慣が、その発症・進行に關与する疾患群。

太平洋岸自転車道

千葉県銚子市から神奈川県、静岡県、愛知県、三重県、和歌山県の各太平洋岸を走り、和歌山市に至る延長1,400kmの自転車道構想。

と

都市機能誘導区域

商業・医療・福祉等の都市機能を都市の中心拠点や生活拠点に誘導し集約することにより、これらの各種サービスの効率的な提供を図る区域。豊橋市立地適正化計画で定められている。

豊橋市立地適正化計画

都市再生特別措置法に基づき、人口減少や高齢化等に対応し持続可能な都市経営を行うために策定するもの。居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の立地、公共交通幹線軸の形成等に関する包括的なマスタープラン。

は

パーソントリップ調査

person（人）の trip（ある目的のため出発地から到着地まで移動すること）に関する調査のことをいう。

「どのような人が、いつ、どこから、どこへ、どんな目的で、どのような移動手段を使って移動しているかのデータを把握し、多様な交通手段の利用実態の定量的な把握、将来の交通量の予測、今後の都市交通施設の整備・運用方針の検討などの基礎資料として活用される。

ほ

ポタリング

自転車等であちこちを気楽にぶらつくことを意味する和製英語。